

むつ総合病院新病棟の病床数と病棟機能について

	病床	現状(許可)	計画	備考
計画	高度急性期病床 (集中治療室ICU)	6床	6床	現状維持(2:1看護)1病棟
	急性期病床	311床	250床	50床(10:1看護)5病棟
	総合診療(救急)病床	—	10床	新設(10:1看護)1病棟
	回復期病床 (地域包括ケア)	59床	30床	(13:1看護)1病棟
	回復期病床 (リハビリ)	—	30床	新設(13:1看護)1病棟
	感染症病床	4床	4床	(必要時に稼働)
	上記病床小計	380床	330床	
既存	精神病床	54床	54床	現状維持
	病床合計	434床	384床	

むつ総合病院新病棟の病床数と病棟機能について

青森県地域医療構想の方向性

下北地域の医療提供体制の現状

むつ総合病院の医療需要の推移



新病棟の病床数と病棟機能

- 新病棟の病床数と病棟機能については、青森県地域医療構想の方向性、下北地域の医療提供体制の現状及びむつ総合病院の医療需要の推移等を踏まえて計画。

病床数について

青森県地域医療構想の方向性

(単位：床)

	H29 病床機能報告	H30.7.1 病床機能報告	R1.7.1 病床機能報告	R7.7.1 病床機能報告 (見込み)	R7 必要病床数
高度急性期	6	6	6	6	39
急性期	418	359	359	359	162
回復期	0	59	59	59	168
慢性期	120	120	120	80	84
休棟中	0				
休棟中 (再開予定有)		0	0	0	
休棟中 (再開予定無)		0	0	0	
有床診療所	76	95	95	95	
合計	620	639	639	599	453

令和元年度病床機能報告を基に集計

- 下北地域は、病床機能報告（見込み）の病床数が599床であり、R7必要病床数453床に比べ146床上回っている。

病床数について

下北地域の医療提供体制の現状

区分	施設名	時点	医療機能区分						全体
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	
病院	むつ総合病院	H30年7月1日	6	311	59				376
		R7年7月1日	6	311	59				376
	むつリハビリテーション病院	H30年7月1日				120			120
		R7年7月1日				80		(40)	80
	国民健康保険大間病院	H30年7月1日		48					48
		R7年7月1日		48					48
	病院 小計	H30年7月1日	6	359	59	120	0	0	544
		R7年7月1日	6	359	59	80	0	(40)	504
診療所	川内診療所	H30年7月1日		19					19
		R7年7月1日		19					19
	大畑診療所	H30年7月1日		10					10
		R7年7月1日		10					10
	東通村診療所	H30年7月1日			19				19
		R7年7月1日			19				19
	民間クリニック(3)	H30年7月1日		28			19		47
		R7年7月1日		28			19		47
	診療所 小計	H30年7月1日	0	57	19	0	19	0	95
		R7年7月1日	0	57	19	0	19	0	95
合計		H30年7月1日	6	416	78	120	19	0	639
		R7年7月1日	6	416	78	80	19	(40)	599

むつ総合病院作成資料

- 下北地域全体の病床数は639床。
- 2025年（令和7年）時点で病床機能の転換を表明しているのはむつリハビリテーション病院で、40床を介護施設等へ転換予定。
- むつ総合病院は376床と地域全体の58.8%を占めていることから、同院の病床数の変更が地域全体に与える影響が大きい。

病床数について

むつ総合病院の医療需要の推移を踏まえた試算

1日あたりの入院患者数

×

今後の伸び率
(102%)

÷

設定病床利用率

=

病床数(試算)

- 医療需要の推移を踏まえて試算。
- 試算方法は、現在の1日当たりの入院患者数に、今後の伸び率を乗じ、設定した病床利用率で除することによって、算出。



病床数について

病床数について～1日あたりの患者数～

病床利用率		H29 (2017)	H30 (2018)	R01 (2019)	平均
病棟	延入院患者数	106,788	107,042	109,901	107,910
	1日当たりの入院患者数	292.6	293.3	300.3	295.6
	病床利用率	80.6%	81.2%	83.2%	81.9%

※延べ入院患者数:この表では在院患者延べ数を記載している。

- 1日あたりの入院患者数は、ここ3年の平均を用いた。その結果、295.6人となった。

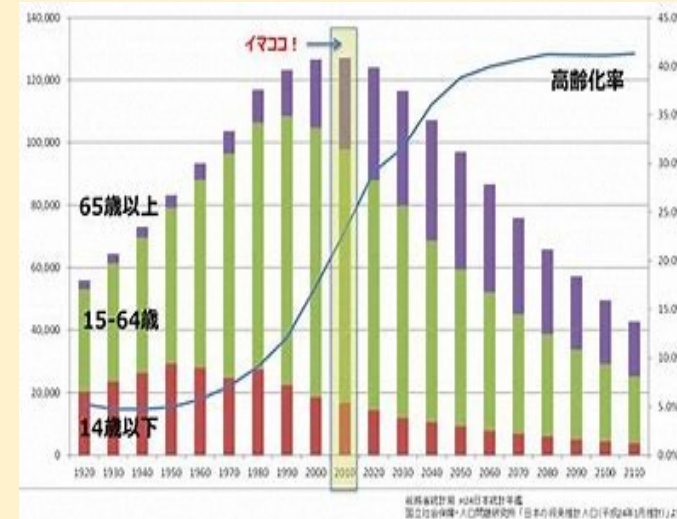


病床数について

病床数について～今後の伸び率～

入院需要		下北地域医療圏 合計	むつ市	東通村	北通地区			
					北通地区小計	大間町	風間浦村	佐井村
現状入院需要	2015年	846人/日	648人/日	80人/日	118人/日	60人/日	27人/日	31人/日
将来需要推計 (入院)	2020年	853人/日	663人/日	78人/日	112人/日	58人/日	25人/日	29人/日
	2025年 (対2015年)	863人/日 102.0%	680人/日 104.9%	75人/日 93.7%	108人/日 91.3%	57人/日 95.1%	24人/日 89.8%	27人/日 88.8%
	2030年	860人/日	681人/日	75人/日	104人/日	56人/日	23人/日	25人/日
	2035年	825人/日	657人/日	73人/日	95人/日	52人/日	20人/日	23人/日
	2040年 (対2015年)	774人/日 91.5%	621人/日 95.9%	68人/日 84.2%	85人/日 72.0%	48人/日 79.9%	18人/日 64.9%	19人/日 63.5%
	2045年 (対2015年)	717人/日 84.8%	581人/日 89.7%	62人/日 76.8%	74人/日 62.7%	42人/日 71.4%	15人/日 54.0%	17人/日 55.2%

- 今後の伸び率については、『基本構想素案』9Pに示している2025年時点での入院患者増加率102%を用いる。



病床数について

病床数について～設定病床利用率～



設定病床利用率は90～95%、個室率は40%前後とした。

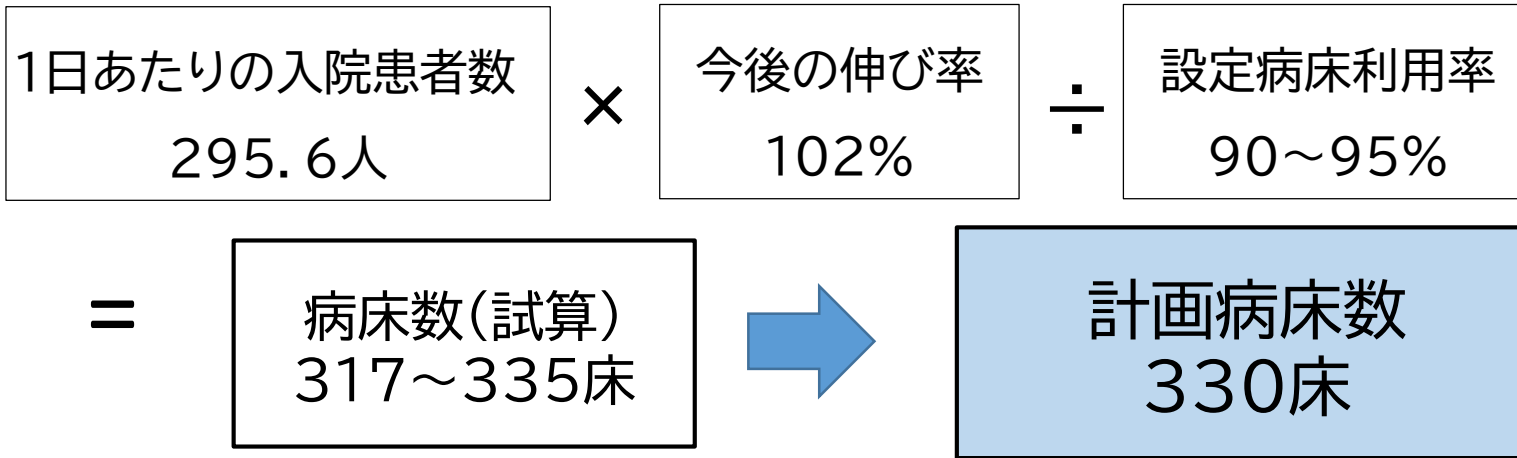
病 院 名	病床数	個室数	個室率
むつ総合病院	434	45	10%
つがる総合病院	412	108	26%
青森新都市病院	191	27	14%
十和田市立中央病院	379	97	26%
八戸市立市民病院	608	91	15%
三沢市立三沢病院	220	60	27%
青森市民病院	459	43	9%
青森県立中央病院	684	138	20%

- 医療需要は、今後10年程度は、ほぼ、横ばいで推移するが、その後減少すると想定されていることに鑑み、必要最低限の病床数とするべく、設定病床利用率は90～95%とした。

新病棟は、40%前後の個室率で計画することとし、高い個室率を背景にしたベッドコントロールの精緻化を図ることにより、高い病床利用率を維持することが可能と見込む。

病床数について

病床数について～医療需要を踏まえた試算～



- 試算結果は、317床から335床になった。
その結果を踏まえ、病棟機能や1病棟あたりの病床数など総合的に勘案した結果、330床で計画することとした。

R3.10試算

※H29からR02までの4年間平均の場合 $289.4人 \times 102\% \div (90 \sim 95\%) = 311 \sim 328床$
(H29:292.6人 H30:293.3人 R1:300.3人 R2:270.6人)

計画病症数330床に対し、1日当たり入院患者数平均289.4人であれば、病症利用率は87.7%となる。

これは、ここ数年の病症利用率に比べ高めとなるが、効率的、弾力的な運用も含め、概ね妥当と判断される。

病棟機能について

青森県地域医療構想

(単位：床)

	H29 病床機能報告	H30.7.1 病床機能報告	R1.7.1 病床機能報告	R7.7.1 病床機能報告 (見込み)	R7 必要病床数
高度急性期	6	6	6	6	39
急性期	418	359	359	359	162
回復期	0	59	59	59	168
慢性期	120	120	120	80	84
休棟中	0				
休棟中 (再開予定有)		0	0	0	
休棟中 (再開予定無)		0	0	0	
有床診療所	76	95	95	95	
合計	620	639	639	599	453

令和元年度病床機能報告を基に集計

- 下北地域の病床機能報告（見込み）をR7必要病床数と比べると、急性期が197床（162-359）上回り、回復期が109床（59-168）下回っている。
- むつ総合病院は、回復期を担う病棟として、H29.11地域包括ケア病棟を設置。

病棟機能について

病棟機能別病床利用率

病床利用率		H29 (2017)	H30 (2018)	R01 (2019)
病棟	急性期病棟	85.6%	83.1%	83.9%
	ICU	66.4%	62.9%	67.6%
	地域包括ケア病棟	80.7%	72.0%	80.1%
小計		84.6%	81.2%	83.2%

※H29:地域包括ケア病棟開設後H29.11～H30.03まで



回復期リハビリテーション病棟の導入

- 地域包括ケア病棟は急性期病棟と比べて、病床利用率が低い。



むつ総合病院新病棟の病床数と医療機能について

	病床	現状(許可)	現状(稼働)	計画1	医療機能	備考
計画	高度急性期病床 (集中治療室ICU)	6床	4床	6床	高度急性期機能 (6床)	現状維持(2:1看護)1病棟
	急性期病床	311床	299床	250床	急性期機能 (260床)	50床(10:1看護)5病棟
	総合診療(救急)病床	—	—	10床		新設(10:1看護)1病棟
	回復期病床 (地域包括ケア)	59床	54床	30床	回復期機能 (60床)	(13:1看護)1病棟
	回復期病床 (リハビリ)	—	—	30床		新設(13:1看護)1病棟
	感染症病床	4床	4床	4床		(必要時に稼働)
	上記病床小計	380床	361床	330床		
既存	精神病床	54床	54床	54床		現状維持
	病床合計	434床	415床	384床		